



ききょう便り

令和7年 春号(第81号)



ききょうデイサービスセンター「沼田公園へ桜の花見」

「日々の風を大切に!!」

評議員 中澤 益夫



北原白秋が作詞し山田耕筰が曲を付けた童謡で、「待ちぼうけ、待ちぼうけある日せつせと野良稼ぎそこへ兎が飛んで出てこりろ転げた木の根っこ」この童謡は、幼い頃から口ずさんだ非常に滑稽でユーモアのあふれた歌詞であります。しかし、この歌から想像判断すると「楽しんで稼ぐな」との教えも出てくるような気がします。「農家の人達が畑で働いていると、たまたまウサギが偶然にも木の切り株にぶつかって死んでしまったシーンの一幕です。」人々が暮らすための「助ける」語源は物を作ることにあると思います。たとえば左の「且つ」も右の「力」も「鋤」を表すようです。雑草を刈り土を耕すことで農作物を栽培し、農業を営み生活を支え毎日毎日を健康に暮らすための人々の努力と協力、更には絆で社会が支えられているのではないのでしょうか。

88歳でこの世を去られた田中邦衛さんのセリフをお借りすると胸を打ちます。「金なんか望むな、幸せだけはある、自然はお前を死なせない程度に充分毎日喰わせてくれる。自然から頂戴しろ、そして謙につつましく生きる。」（北の国から・2002年の遺言より）人生をいかに大切に生きるかは、私は、自主防犯パトロール活動（地域防犯見回り隊）を行っていて気付きました。それは、「町を歩くこと」人生楽しく、美しく過ごすことは、目をきれいに、耳をきれいに、要するに心を外に向ける（開く）ことだと思います。

2020年の東京パラリンピックを観戦（テレビ）していて各種の競技部門で素晴らしい活動があり、国民に元気と感動を与えてくれました。そこには、「可能性」（共生社会の実現）を発見することができました。それぞれの個性で参加する誇りと歓び又負ける悔しさもあると思いますが、競技は、パラマークのごとく「スリーアギトス」ラテン語で「私は動く」どんな困難があっても諦めずに挑戦を続けることが大切であることを教えていただきました。自分自身で活動の場を見つけ、毎日における「使命感・親近感・責任感・連帯感」など一つでも一歩でも新たな春に向かって踏み出し笑顔で暮らせる日々を見つけようではありませんか。そして新しい風に乗きましょう。

社会福祉法人 桔梗会

特別養護老人ホームききょうの里
ききょうの里短期入所生活介護事業所
ききょうデイサービスセンター
ききょうの里居宅介護支援事業所
沼田市在宅介護支援センターききょう

〒378-0002
群馬県沼田市横塚町957番地2
TEL 0278-23-8831
FAX 0278-23-8832

発行責任者

堤 佳史

特別養護老人ホームまきょうの里 ～従来型～



令和7年度の最初の行事でお花見を計画しました。天候と開花状況を確認しながら4月8日に御殿桜が満開に近い開花になりましたので外出行事「お花見」に行ってきました。久しぶりの外出行事に参加され、利用者の皆さんはとても嬉しそうな表情をされお花見を楽しまれていました。



「御殿桜」

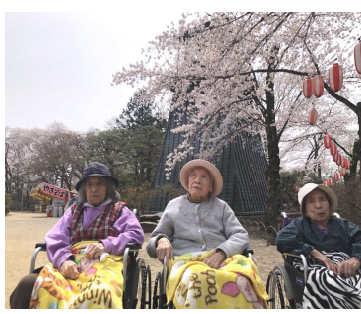
「御殿桜二世」



【一口メモ】

「御殿桜」という名前は愛称で、長野県松本市にあるオヤマザクラの御殿桜、福島県須賀川市にあるエヒガンザクラの御殿桜、静岡県御殿場市にあるマメザクラの御殿桜、沼田城址の御殿桜はエヒガンザクラで樹齢400年です。

御殿桜が満開だった10日後の18日に沼田公園に2回目のお花見に行ってきました。晴天の中ソメイヨシノが満開でチューリップが赤・黄色ととても綺麗に咲いていました。参加された方々は公園内を散策されながら満開の桜やチューリップを見てとても嬉しそうな顔をして喜ばれていました。



☆行事紹介☆



ききょうデイサービスセンターでは、手作りおやつで「どら焼き」と「マフィン」を作りました。皆さん楽しみながら作り、美味しく頂きました。作りたてはやっぱり美味しいです。



誕生日会や開所記念といった行事の時にはいつもと違う食事で利用者様のお箸が進みます。

新入職員へ

施設長・理事 堤 佳史

このたび、皆さんがききょうの里に入職してくださったことを、心からうれしく思います。皆さんそれぞれが異なる背景や思いを持って、この第一歩を踏み出してくれました。その勇気と志に、心から拍手を送ります。

ベトナムから来てくれたお二人には、言葉や文化の違いで戸惑うこともあるかもしれませんが、皆で理解し合っていきましょう。あなたたちの存在が、職場にとっても、利用者にとっても新しい刺激になるはずですよ。

そして、高校を卒業してすぐに社会人としての道を選んでくれたお二人には、大きな成長のチャンスがあります。この施設には、皆さんのような若い力が必要です。一つひとつの経験を大切にしながら、じっくり学びを重ねていってください。

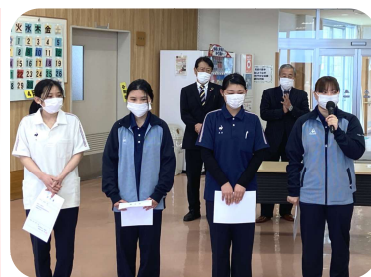
皆さんのような新しい仲間が存在が、施設に新しい風を吹き込んでくれます。分からないこと、悩むことがあれば、どんな些細なことでも遠慮なく声をかけてください。一緒に学び、支え合い、温かな福祉の現場を作っていきましょう。

フイン タオ ミ

- ①職種は？
介護職員
- ②元気の源は？
家族と美味しい食べ物
- ③働く上で大切にしたいことは？
利用者様に優しい介助します

ライン ビック ジェップ

- ①職種は？
介護職員
- ②元気の源は？
家族
- ③働く上で大切にしたいことは？
幸せ・用心・忍耐



大島 遼華

- ①職種は？
介護職員
- ②元気の源は？
好きな音楽を聴いてリフレッシュ
- ③働く上で大切にしたいことは？
利用者様に、伝わるようにゆっくりと話す

星野 和

- ①職種は？
介護職員
- ②元気の源は？
ご飯を食べること。友達と遊ぶこと。
- ③働く上で大切にしたいことは？
挨拶と笑顔とコミュニケーション！



厨房から笑顔をお届け⑤



ささ身のカツレツ

柔らかい鶏のささ身をカツレツ風に仕上げました。カレー粉やケチャップを配合した特性ソースとの相性は抜群でご飯が進みます。

帝国ホテルの初代総料理長、村上信夫さんのエピソードで、特に印象に残っている話があります。シベリアに抑留されていた時、瀕死の戦友が『最期にパイナップルが食べたい』と願い、その気持ちに応えたい一心で、軍医からりんごを貰い受け、輪切りにして真ん中をくり抜き、包丁でパイナップルのようなギザギザの溝を入れ、レモンと砂糖で煮てその戦友に食べさせます。戦友は本物のパイナップルだと信じて嬉しそうに食べます。翌日入院してしまいましたが数日後には退院し、日本に帰ってもう一度パイナップルを食べたいと元気を取り戻したそうです。



パイナップルは南国のフルーツで、当時のシベリアのような寒い地域では、まず手に入らない食材です。それでもどうにか友人の願いを叶えたい、彼の力になりたいという想いと、卓越した料理の才能と閃きで、不可能を超越して【食】から生きる力を届けることに成功します。

料理人の仕事とは食べる人のことを想い、喜びや活力を届けることが真髓なのだと教えられているようなこのエピソードは、今も僕の心の中のかがり火として光を宿しています。

こちらのURLで実際に調理している動画を限定公開中!!



※一般公開している動画ではありません <https://youtu.be/gprsiq22f-A>



慰問行事



「沼田ハーモニカクラブ」の皆様が演奏に来てくれました。生の演奏は良かったですね。皆様真剣に聞き入っていました。

☆編集後記☆

ようやく暖かい日が増えてきて、春の気配を感じる毎日です。施設の庭にもきれいな花が咲き始め、春の訪れに心がほっと和みます。利用者様も、お散歩や日向ぼっこを楽しんでいて私たち職員も嬉しくなっています。今号では、お花見の様子や新しく仲間入りした職員の紹介などをお届けしています。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期ですので、どうか皆様もお気を付けください。

総務課 高橋

